



かぞ

市議会だより

発行日／令和4年9月1日

発行／加須市議会

〒347-8501 加須市三俣二丁目1番地1

TEL 0480 (62) 1111(代)

<https://www.city.kazo.lg.jp/>

◎第53号◎



◎注目記事



コロナ禍の市民の生活を支援するための
補正予算を可決



新たな議会の構成



議会報告会 市民との意見交換会



第2回定例会のあらまし…… P 2～3
 常任委員会の審議内容…… P 6
 議案等の審議結果…… P 7
 新たな議会の構成…… P 14
 傍聴者の皆様へ…… P 16

議案等に対する質疑…… P 4～5
 議案に対する討論…… P 6
 市政に対する一般質問…… P 8～13
 議会活動等…… P 15

市議会に関する情報は、ホームページをご覧ください。

◎本会議のインターネット中継を実施しています。

加須市 議会

検索



第2回 定例会の あらし

令和4年第2回定例会は、6月14日から6月29日までの16日間の会期で開催しました。

今期定例会では、令和4年度一般会計補正予算をはじめとした市長提出議案等19件を審査し、8件を原案可決、11件の人事案件に同意しました。

このほか、提出された1件の請願を不採択としました。
なお、審議結果については、7ページをご覧ください。

一般会計補正予算等可決

主な議案等の一部を紹介します。

令和4年度一般会計 補正予算(第1号)

・住民税非課税世帯等に対する
臨時特別給付金給付事業

(2億1269万3千円)

コロナ禍における生活・暮らしを支援するため、令和4年度住民税均等割非課税世帯等に、1世帯当たり10万円を給付するための経費です。

・低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金支給事業

(1億1959万3千円)

食費等の物価高騰等に直面する低所得の子育て世帯に対し、児童1人当たり5万円を給付するための経費です。

令和4年度一般会計 補正予算(第2号)

・地産地消推進事業

(520万8千円)

・給食センター管理運営事業

(280万6千円のうち

111万8千円)

・公立保育所管理運営事業
(82万2千円)

物価高騰の中、給食費の保護者負担を増やすことなく給食の質等を維持し、地産地消をさらに推進するため、地場産野菜を購入するための経費です。

・燃料費高騰対策事業

(4552万5千円)

原油価格高騰の影響により燃料費が増加した市内事業者に対し、事業継続の下支えとして最大20万円の給付金を支給するための経費です。

・ちよこつとおたすけ絆サポート券全世帯配布事業
(2億9712万9千円)

原油価格・物価高騰等の影響を受けている市民の家計を支援するとともに、市内経済を活性化するため、全世帯に絆サポート券5千円分を配布するための経費です。



・新型コロナウイルスワクチン接種事業

(3億5771万9千円)

4回目のワクチン接種をスムーズに実施する体制を整備するための経費です。

・学校ICT教育活用事業
(6649万円)

学習用タブレット端末の日常的な持ち帰りをを行うため、家庭用充電アダプタを整備するための経費です。

・文化・学習センター管理運営事業(246万9千円)

パストラルかぞ小ホールに、ウェブでライブ配信ができるインターネット環境を整備するための経費です。

・庁舎維持管理事業

(4947万8千円)

旧北川辺公民館を解体し、当該跡地を周辺公共施設の複合駐車場として再整備するための経費です。

・不妊治療事業

(420万円)

保険適用後も、引き続き不妊治療費に対する助成を実施するための経費です。

・予防接種事業

(1億5904万8千円)

子宮頸がん予防接種の積極的勧奨の再開及び接種機会を逃した方に接種を実施するための経費です。

・加須クリーンセンター
ごみ処理事業

(1373万2千円)
最終処分場の延命化及びリサイクル率向上を目的し、資源ごみの選別を強化するための経費です。

・道路維持管理事業

(1億1890万円)

・生活道路側溝事業

(1230万円)

・幹線道路側溝事業

(2250万円)

緊急を要する道路の修繕及び道路整備等に要する経費です。

条 例

◇加須市税条例等の一部を改正する条例

扶養親族申告書の記載事項の追加、住宅借入金等特別税額控除の見直し、上場株式等の配当所得等の課税方式の変更、固定資産税の証明等へのDV被害者の住所に代わる事項を記載する措置などを規定します。

選 挙

【加須市選挙管理委員会委員及び補充員選挙当選者】

選挙管理委員会委員

藤原 操氏 (町屋新田)

関口 政司氏 (内田ヶ谷)

櫻井 喜代次氏 (向古河)

林 茂雄氏 (琴寄)

板東 直人氏 (花崎北)

石井 明子氏 (戸室)

羽鳥 幸一氏 (飯積)

黒澤 幸義氏 (間口)

選挙管理委員会委員補充員

萩原 利一氏 (北大桑)

青鹿 実氏 (旗井)

秋本 政信氏 (岡古井)

人事案件

【加須市副市長の選任について】

萩原 利一氏 (新任)

青鹿 実氏 (新任)

【加須市固定資産評価委員の選任について】

萩原 利一氏 (新任)

青鹿 実氏 (新任)

【加須市監査委員の選任について】

秋本 政信氏 (再任)

萩原 利一氏 (再任)

青鹿 実氏 (再任)

【加須市固定資産評価審査委員会委員の選任について】

黒川 澄子氏 (新任)

吉田 清信氏 (新任)

鈴木 秀次氏 (新任)

山田 由里子氏 (新任)

遠藤 康江氏 (再任)

松永 修氏 (新任)

安部 貞子氏 (再任)

渡邊 章氏 (再任)

永年勤続議員表彰

全国市議会議長会、埼玉県市議会議長会及び加須市長から、永年にわたり地方自治の発展と市政の振興に貢献した功績により、3名の議員が表彰されました。

【全国・埼玉県市議会議長会表彰】



小勝 裕真議員

小林 利一議員

【加須市自治功労表彰】



田中 良夫議員

【全国・埼玉県市議会議長会表彰・加須市自治功労表彰】



第2回定例会 会期日程

- 6.14(火) 本会議
- 6.17(金) 本会議 (議案質疑)
- 6.20(月) 本会議 (一般質問)
- 6.21(火) 本会議 (一般質問)
- 6.22(水) 本会議 (一般質問)
- 6.23(木) 本会議 (一般質問)
- 6.24(金) 常任委員会
- 6.29(水) 本会議



私たちが慎重に チェック

可決された 主な議案等 と 質疑

新型コロナウイルス感染症の対応として、質疑は各会派の代表者が行うものとし、発言時間については1会派当たり30分に議員1人当たり5分を加えた時間以内としました。

所信表明

災害に強い安全なまち

議員 洪水時の避難対策についてお伺いします。

市長 洪水時における逃げ遅れゼロは、早い段階で浸水想定区域外の安全な場所に全員が避難することではかなし得ないと思っております。

ハード面では堤防強化、渡良瀬遊水地や河川の掘削などの整備、ソフト面では全ての方が早期に安全な場所に避難するという意識で訓練を実施し、誰一人取り残さない避難対策を基本として取り組んでまいります。

加須駅南にかぞ版 スーパーシティ構想

議員 さまざまな都市機能を集積とありますが、具体的な考えをお伺いします。

市長 まちを形づくる要素として、住む・働く・憩う・学ぶ・つなぐ、という暮らしに必要な機能を想定しています。「住む」ための住宅や生活道路、身近な買い物場など住生活を支える機能、「働く」ための店舗やオフィスなどの事業所、本市の特性を生かした農業関連施設、さらに働きやすい環境を整える施設、例えば保育所など、活力を創出する機能、「憩う」ための緑豊かな自然、自然と調和した公園、市民の交流拠点、飲食店など暮らしを豊かにする機能、「学ぶ」ための各種学校やさまざまな体験ができる施設など学ぶ力を育む機能、「つなぐ」ための移動の利便性、回遊性を高め

る移動サービスなど新たな人の流れに対応する機能、さらに、暮らしを支えるその他のサービスを想定しています。

議員 意見聴取の対象者をお伺いします。

市長 市議会、地権者などの関係権利者のほか、自治協力団体、商工会及び医師会などの団体、高齢者層や女性層、子育て世帯、学生などの市民を想定しております。

子育て支援に磨きをかける

議員 具体的な取組についてお伺いします。

市長 現行の妊娠期、出産期・産後、子育て期までの切れ目のない一貫した子育て支援策に磨きをかけ、必要なものは重点的に取り組み、無いものは新たに取組むなど、状況や環境の変化に合わせてながら対応してまいります。



やりがいと雇用と所得のための地域産業の振興

議員 企業の受け皿整備についての考えをお伺いします。

市長 今後もこれまでと同様、民間開発による企業立地を進めてまいります。また、時間はかかりますが、公的開発による整備も推進してまいります。基盤に応じて、点と面の両面から優良企業の受け皿の整備に努めてまいります。

東西南北の交通ネットワーク

議員 済生会通り、市役所、利根川新橋を1本につなぐ道路を整備することについてお伺いします。

市長 便利で暮らしやすいまちづくりには南北方向を結ぶ幹線道路や利根川新橋の整備は重要ですが、構造的・技術的に難易度が高いことなど、さまざまな課題があるため、一歩一歩着実に実現に向けて進めていくことが必要であると考えております。

令和4年度一般会計 補正予算(第2号)

・新型コロナウイルス感染症
生活困窮者自立支援金支給事業

議員 申請期限延長の周
知方法をお伺いします。

福祉部長 市のホームページに掲載するほか、県社会福祉協議会から緊急小口資金及び総合支援資金(初回分)を借り終えた方の情報提供を受け、対象となる可能性がある方全員に申請案内を送付しています。

・予防接種事業

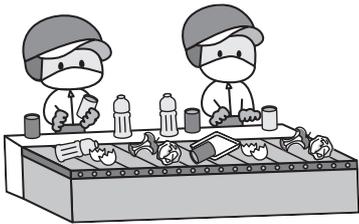
議員 子宮頸がん予防接種の接種機会を逃した方に対するキャッチアップ接種の周知方法、お知らせ内容、相談への対応についてお伺いします。

こども局長 個別通知のほか、市のホームページに掲載しています。併せて子宮頸がんワクチンに関する相談窓口情報を掲載しています。さらに、

国及び県のホームページから関連する情報をご案内し、接種への理解と健康被害への注意喚起を実施してまいります。

・加須クリーンセンター
議員 資源ごみの選別強化の内容をお伺いします。

環境安全部長 燃やさないごみは、破砕機への投入前に作業員が手選別で作業しています。現在の人員では、資源化が可能なが選別しきれず、埋立て処分される割合が高くなっています。手選別を行う専属の人員を増強することで、選別強化を進め、最終処分量の減量及び資源化量の増量を図るものです。



・地産地消推進事業

給食センター管理運営事業

・公立保育所管理運営事業

議員 賄材料費(給食の食料購入費)の支援総額をお伺いします。

こども局長 公立保育所への支援額は82万2千円です。

学校教育部長 コロナ禍の物価高騰の中で、保護者の負担を増やすことなく、給食の質・量を維持するとともに、地産地消をさらに推進するための支援総額は632万6千円です。



・ちよこつとおたすけ絆サポート券全世帯配布事業

議員 絆サポート券取扱店の状況についてお伺いします。

経済部長 令和4年5月末現在では724店舗です。利用期間中も取扱店は随時募集し、登録の受付を行い、絆サポート券を利用できるようにいたします。

なお、取扱店一覧は毎月1回更新し、市及び加須市商工会のホームページに掲載するとともに、本庁舎産業振興課窓口、各総合支所地域振興課の窓口において冊子を配布し、周知しております。

・学校ICT教育活用事業

議員 タブレットを用いた自宅での学習についてお伺いします。

教育長 今後、タブレット端末の日常的、恒常的な持ち帰りを全小・中学校で実施してまいります。タブレット端末に含まれている学習ソフトを用いると、

子ども一人一人の家庭学習の状況や効果を教師が一覧で把握することができ、自宅でもタブレット端末を使用することで、子どもたちの学習の幅が広がるものと考えられています。



・文化・学習センター管理運営事業

議員 パストラルかぞ小ホールのインターネット環境の整備内容についてお伺いします。

生涯学習部長 小ホール内2箇所、観客席横もしくは舞台袖の情報コンテンツに接続するだけで、小ホール専用のインターネット回線を使用することができ、さらに、アクセスポイントも2箇所設置しますので、無線LANに接続することも可能になり、音響も確保できるようになります。

子ども一人一人の家庭学習の状況や効果を教師が一覧で把握することができ、自宅でもタブレット端末を使用することで、子どもたちの学習の幅が広がるものと考えられています。

常任委員会の審議内容

総務常任委員会は、6月24日、付託された一般会計補正予算等の2案件（1議案及び1請願）について審査を行いました。

なお、委員会の主な審査内容は次のとおりです。

総務常任委員会

1議案 可決
1請願 不採択

委員長 金子正則
副委員長 池田年美
委員 吉田健一、松本英子、小林利一、中野芳子、中島正和、小坂徳藏、赤坂和洋

《一般会計補正予算(第2号)》

・ちよこつとおたすけ絆

サポート券全世帯配布事業

問 絆サポート券の配布

方法及び利用期間は。

答 令和4年8月1日から

順次、簡易書留で全世帯

に郵送し、利用期間は8月

1日から令和5年1月31

日までです。

・小学校施設整備事業

問 改修工事の内容は。

答 学級編成を40人学級

から35人学級へ段階的に

引き下げることに伴い、

教室不足が見込まれる高

柳小学校、大桑小学校及び

元和小学校に普通教室を

整備するものです。

《生理用品を消費税の軽

減税率の対象とするよう

求める意見書》の提出を求

める請願

問 若年層の女性の貧困

の実態は。

答(紹介議員)

民間の団

体が実施したアンケート

調査において、高校生及

び大学生の女子学生のうち、

5人に1人が経済的理由

で生理用品の購入に苦労

したとの結果が出ていま

す。

委員の意見 物価が高騰

し経済的に大変な状況の中、

サニタリー用品である

高齢者や赤ちゃんのおむ

つ等も生活必需品であり、

生理用品だけを特化して

消費税の減税を求めるこ

とは難しいと考

えます。

委員の意見 コロナ禍に

おいて女性の貧困が問題

視されている中、ジェンダー

平等を達成するためにも

必要な措置であると考え

るため、採択すべきです。



議案に対する討論

本会議での採決に先立ち、議案に対する討論が行われました。討論の一部を掲載します。

令和4年度一般会計補正予算(第2号)

反対討論

子宮頸がん予防接種の定期接種及びキャッチアップ接種に要する経費の補正予算があります。定期接種とは、国が接種を勧奨し、市町村が接種を行わなければならないワクチン接種です。子宮頸がん(HPV)ワクチンは、昨年の11月以前は勧奨が差し控えられていましたが、リスクより効果が上回るという理由による勧奨の再開です。子宮頸がん予防は、HPVワクチン任せではなく、何よりも検診しやすい環境

賛成討論

づくり、性感染の危険性についての啓発や性教育の充実などを優先すべきだと考え、本案に反対するものです。

市としてコロナ禍における原油価格、物価高騰等総合緊急対策、新型コロナウイルス感染症対策、コロナ関連以外の緊急的な対策等の予算が計上されています。市民の生活と市内事業者の経営の両方を応援するほか、新型コロナウイルスワクチンの4回目接種の体制整備や市民の声に寄り添った子育て支援、少子化対策、コロナ禍で失われた文化とコミュニティの再生ができるよう高く評価します。今後も国の動向を見据え、市民の声を聴き、さらなる対応を取っていただくよう要望し、本案に賛成するものです。

令和4年第2回定例会 議案等の審議結果

●全議員（議長及び欠席議員を除く）が賛成した議案等

	議案等番号	議案名等
市長提出議案	46	専決処分の承認を求めることについて（加須市税条例の一部を改正する条例）
	47	専決処分の承認を求めることについて（加須市都市計画税条例の一部を改正する条例）
	48	令和4年度加須市一般会計補正予算（第1号）
	50	加須市公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例
	51	加須市税条例等の一部を改正する条例
	52	市道路線の認定について
	53	市道路線の廃止について
	54	加須市固定資産評価員の選任について
	56	加須市監査委員の選任について
	57	加須市固定資産評価審査委員会委員の選任について
	58	加須市固定資産評価審査委員会委員の選任について
	59	加須市固定資産評価審査委員会委員の選任について
	60	加須市公平委員会委員の選任について
	61	加須市教育委員会委員の任命について
62	加須市教育委員会委員の任命について	
諮問	3	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて
	4	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて

●賛否が分かれた議案等

○…賛成、●…反対 ※会派別議席番号順

	議案等番号	議案名等	審議結果	創政会				新政会				令和会			公明党			日本共産党		立憲民主党	無所属							
				小林利一	竹内政雄	新井好一	小坂裕	松本正行	田中良夫	吉田健一	山下雄希	金子正則	齋藤理史	小勝裕真	栗原肇	中島正和	原田悟	関口孝夫	赤坂和洋	中條恵子	大内清心	森本寿子	池田年美	佐伯由恵	及川和子	松本英子	小坂徳蔵	池田裕美子
市長提出議案	49	令和4年度加須市一般会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	55	加須市副市長の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願	2	「生理用品を消費税の軽減税率の対象とするよう求める意見書」の提出を求める請願	不採択	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	

※審議結果の会派名は、一部略称で掲載しています。

ここが聞きたい！

市政に対する一般質問

議員は、定例会において市政全般に対する質問をすることができます。これを「一般質問」といいます。今期定例会では、17人の議員が一般質問を行いました。質問の中から主なものの要旨を質問者順に9～13ページへ掲載しました。なお、詳細は会議録やホームページでもご覧いただくことができます。

池田年美議員 (公明党)

- 電子母子手帳の導入について
- 空き家対策について
- 確定申告のインターネット、スマートフォンからの予約について

- 気候変動対策について
- 障がい者支援について

竹内政雄議員 (創政会)

- 「2050ゼロカーボン」を見据えた取組について
- 加須市の伝統工芸「手描きこいのぼり」の保存と技術の継承について
- コロナ禍の下で新学期を迎えて

森本寿子議員 (公明党)

- パートナーシップ・ファミリーシップ認証制度の導入について
- がん対策について
- 幼稚園・保育園での使用済み紙おむつの持ち帰り廃止について
- 3歳児健診での屈折検査導入について
- 熱中症対策について

大内清心議員 (公明党)

- 環境教育の推進及びカーボンニュートラル達成に向けた学校施設のZEB化の推進について
- さらなる市民サービスの向上について
- 保育士の業務負担軽減に向けたICTシステムの導入について

- 危険な用水路等から子どもを守るために
- シニア向け婚活支援について
- 物価高騰等に対する地方創生臨時交付金の活用について

関口孝夫議員 (令和会)

- 済生会加須病院を核とした新たなまちづくりコンセプト案について
- 加須市都市計画法に基づく開発許可等の基準に関する条例について
- 中学校における部活動の今後のあり方について

原田 悟議員 (令和会)

- 第3次加須市みんなどくろ防犯のまちづくり推進計画 令和4年度、令和8年度について
- 加須市の「重要6要素を満たす業務継続計画（BCP）」について

赤坂和洋議員 (令和会)

- 埼玉利根保健医療圏地域医療ネットワークシステム「とねっと」について
- ゲリラ豪雨の対応について

金子正則議員 (新政会)

- 新型コロナウイルス接種の状況について
- 学校におけるウィズコロナ対応について
- 農業対策について

中條恵子議員 (公明党)

- 市有財産の有効活用について
- 加須市の教育について
- 小・中学校体育館へのエアコン設置について
- 高校3年生までの医療費無償化について

野中芳子議員 (立憲民主党)

- カーボンニュートラルへの取組について
- 成人の带状疱疹ワクチン助成について

池田裕美子議員 (立憲民主党)

- ジェンダー（社会がつくった性差）平等推進について
- 済生会加須病院を核とした新たなまちづくりについて
- 財政運営について
- オリンピックのコロナピア選手団事前キャンプに係る空室請求事件の公表について

山下雄希議員 (新政会)

- 加須市長選挙時のハガキ内の誤字による再発防止について
- 用水路の見直しについて

佐伯由恵議員 (日本共産党)

- 加須市農業の支援と再生について
- 物価高騰に対し、所得の向上と地域産業の振興について
- 気候危機打開に向けて
- 子どもが輝く教育の推進について

吉田健一議員 (創政会)

- 農業政策について
- 外来生物の防除対策について
- 加須市公共施設等個別施設計画について

及川和子議員 (日本共産党)

- 誰ひとり取り残さない災害避難対策について
- 地域の絆・コミュニティ復活のまちづくりについて
- コミュニティバスの運行改善について
- 学校給食センターの再編について

松本英子議員 (日本共産党)

- 水害時の避難場所確保等について
- 大利根総合福祉会館（老人福祉センター）の再開について
- 道の駅おとねの運営改善について
- 大利根地域基幹排水路の整備について

小坂徳蔵議員 (日本共産党)

- 新型コロナウイルス感染症対策について
- 市長の公約と市政運営の基本について
- 成年後見制度について



ゼロカーボンシティ宣言 についての考えは

池田 年美 議員

池田 市内製造業者や市民が意識を持ってCO2排出を減らし、ゼロカーボンシティを目指そうとアクションを起こす動機付け、または理由付けのために、ゼロカーボンシティ宣言をされることへの考えをお伺いします。

環境安全部長 市としても、カーボンニュートラルの実現に向け、多くの事業者や市民の協力を得ていくことは、市民生活に直結するため、大変重要と考えております。本市では、現在、2030年度を目標年度とする市の地方公共団体実行計画（区域施策編）の骨子案の策定に向け、加須市地球温暖化防止実行計画推進委員会での検討など、全庁を挙げて進めているところでございます。本市におけるゼロカーボンシティ宣言につきましましては、計画策定の進捗などを見極めながら検討してまいります。

伝統工芸「手描きこいのぼり」の技術の継承を

竹内 政雄 議員

竹内 手描きこいのぼりの制作技術の継承と後継者の育成についてお伺いします。

経済部長 手描きこいのぼりは大変多くの作業工程があり、熟練された技術、根気の要る製法で、一朝一夕で技術を得られるものではないため、制作技術の継承や後継者育成は、大変難しい課題です。これまで市では、さまざまなイベントを通じて、こいのぼりのまちとしてのPR活動を実施しており、今後も、若い世代に手描きこいのぼりの魅力を伝えられるような事業を展開してまいります。新しい在り方で手描きこいのぼり職人を盛り上げようとすする市民の団体、加須こいのぼり職人プロジェクトや、芸術家として活動している鯉師会などの新しい動きも捉え、制作技術の継承や後継者の育成へとつなげるよう、気運の醸成を図ることから始めてまいりたいと考えております。

幼稚園・保育園での使用済み紙おむつの持ち帰り廃止を

森本 寿子 議員

森本 保育所等で使用済み紙おむつを保護者に持って帰ってもらうことへの疑問の声や見直しの動きが広まっています。現在、持ち帰りをしている園数とその理由をお伺いします。

こども局長 民間保育所及び認定こども園の7園です。理由としては、園児の体調を保護者と共有するため、また、保管、費用、管理面における施設の負担軽減等のためです。
森本 使用済み紙おむつの持ち帰りは感染症の危険性があること等が浮き彫りになっているため、全ての保育所等での持ち帰りを廃止していただきたいと思いますが、考えをお伺いします。
市長 全国的に持ち帰りを見直す動きが広がっている状況は承知しておりますが、持ち帰りは各保育園の保育方針によるものであり、また、衛生的な保管場所確保に課題があると聞いていますので、各民間保育所等と協議、検討してまいります。

危険な用排水路等から子どもの命を守るために

大内 清心 議員

大内 管轄外も含め、市内の危険な用排水路等の現状と、扉の鍵かけの現状と対策をお伺いします。
都市整備部長 危険な用排水路は、市が管理する2877路線、延長は約705キロメートル、また、

各土地改良区が管理する全ての用排水路が危険性を伴うものと認識しています。市管理の全ての扉に鍵をかけて、一般の方が水路内に立ち入らないよう対策しています。
大内 今後の用排水路等の安全対策についてお伺いします。
市長 水田の多い本市では、市街地の中に農業用水路が身近に存在しています。これまでも水路への転落防止柵の設置に加え、看板等による転落の注意喚起、さらに、幹線水路の定期点検、集中的な緊急点検などを行ってきました。今後は、これらの対策に加え、地域での見守りや声掛けのご協力をお願いしてまいりたいと考えております。

加須駅南の済生会加須病院を核とした新たなまちづくりは

関口 孝夫 議員

関口 済生会加須病院を核とした新たなまちづくりについてお伺いします。

市長 病院が6月1日に開院して、本市の長年の夢の一つが現実となりました。病院を核とした新たなまちづくりに注目や期待が高まってきているものと思えます。現在、今年度中の構想策定に向けて、その基となるコンセプトを取りまとめています。構想では、開発手法、整備手法、誘致対象、ゾーニングなどの具体的な内容を詰めていきたいと考えております。行政の独りよがりにならないよう、民間事業者へのニーズ調査も実施していますので、これを反映させながら、また、これから何が必要かという社会的なニーズも追求しながら、構想をまとめてまいります。

新しい加須の顔になるような、そして、市全体にその効果が波及していくようなまちづくりをしてまいりたいと考えております。

重要6要素を満たす業務継続計画（BCP）の策定状況は

原田 悟 議員

原田 業務継続計画（BCP）の重要6要素についてお伺いします。

市長 平成28年2月に国の防災基本計画が修正され、それに基づき、内閣府が「大規模災害発生時における地方公共団体の業務継続の手引き」を改定し、同時期に県から、市が策定するBCPにおいても重要6要素を定めるよう通知がありました。重要6要素とは、1つ目が首長不在時の明確な代行順位及び職員の参集体制、2つ目が本庁舎が使用できなくなつた場合の代替庁舎の特定、3つ目が電気、水道、食料等の確保、4つ目が災害時につながりやすい通信手段の確保、5つ目が重要な行政データのバックアップ、6つ目が非常時優先業務の整理です。本市のBCPには、すでに重要6要素を定めておりますが、地域防災計画と整合を図るため、現在、BCPの見直しを行っており、今年度内の改定を予定しております。

とねつとの今後の活用は

赤坂 和洋 議員

赤坂 埼玉県済生会加須病院が開院しました。今後、埼玉利根保健医療圏地域医療ネットワークシステム「とねつと」は、どのようなシステムを目指していくのかお伺いします。

健康医療部長 済生会加須病院は、移転前の済生会栗橋病院でも、とねつとに加入・参加いただいております。移転後も引き続き、とねつとにおける中核病院としての機能を果たしていただけるものと考えています。例えば、済生会加須病院の診察において、とねつと参加者の乳がん検診画像データを使用、参照できるなど、さらに市内医療機関との連携が図られるものと考えております。今後は、これまでと同様に、とねつとを活用しつつ、国のシステムの整備状況を注視しながら、市民や参加医療機関がより使いやすいシステムになるよう、構成市町や関係機関と検討を重ねてまいります。

農家を取り巻く課題に対応する市の対応は

金子 正則 議員

金子 農家を取り巻く環境は、肥料価格・燃料価格の高騰、農業従事者の高齢化や後継者不足という大きな課題を抱えています。これらの課題への対応についてお伺いします。

経済部長 農業の諸課題に対応するため、本市では良好な生活基盤の確保と農地の集約化や、地域農業をけん引する多様な担い手の育成など、さまざまな施策に取り組んでいます。さらに、コロナ禍による影響への施策として農業経営継続補助金や、米価下落の影響に対する稲作経営次期作支援交付金、燃油等の価格高騰の影響に対する施設園芸農家支援補助金などを交付し、農業経営にかかる負担の軽減を図りました。今後も本市の基幹産業である農業が持続的に発展できるように、国・県・JA等の関係機関とも連携を図りながら取り組んでまいりたいと考えております。

高校3年生までの医療費無償化を

中條 恵子議員

中條 近隣自治体では医療費無償化の対象を18歳まで拡大しているところが増加しています。令和2年4月の調査でも、既に県内23自治体で実施しています。本市で18歳までを無償化の対象とした場合にかかる費用は、年間で4千万円から5千万円くらいだと思います。貴重な財源ですが、子どもたちの健康を守り、子育て世帯を経済的に支援するために、高校3年生までの医療費を無償化していただきたいと思いますが、考えをお伺いします。

市長 実施するにあたり必要な財源の確保や、切れ目のない子育て支援策の中での優先順位はどうかなど、さまざまな課題があります。一方で、多くの要望の声も聞いており、子育て世帯の経済的負担の軽減にもなることから、子育て支援策として、また、子どもの健康づくりの観点からも前向きに検討してまいります。

脱炭素社会への取組は

野中 芳子議員

野中 2020年10月、政府は2050年までに温室効果ガスの排出量を全体としてゼロにするカーボンニュートラルを目指すと言いました。

市として、事業者及び販売業者へのプラスチック容器削減への働きかけ、市民への啓発及びゼロカーボンシティ宣言への考えをお伺いします。

環境安全部長 市内事業者等に働きかけるため、現在、商工会と調整していますが、既にプラスチック製品削減に動き出している事業者もあります。市民に対しては、ごみ分別品目辞典や市オリジナルマイバッグを配布するなどしています。今後もプラスチックごみ削減のための取組を推進してまいります。

市長 現在、地方公共団体実行計画（区域施策編）の骨子案の策定を進めており、この計画策定の進捗などを見極めながら、なるべく早期に宣言をしてみたいと考えております。

ミスコンテストとジェンダー問題について

池田 裕美子議員

池田 「ミス藤むすめコンテスト」が実施され、市は、公式SNSでその内容と結果を発信しました。応募条件として「独身女性」を課すミスコンテストには、前時代的・希薄な人権意識・男性上位の傲慢さを禁じ得ません。市長の所信表明においても、ジェンダー平等の推進は、「そのほか」のくくりとなっております。市長はミスコンテストの問題性を認識なさっているのかお伺いします。

市長 当コンテストは商工会青年部騎西地区が地域活性化を目的に長年実施してきた町おこしで、県指定天然記念物の「フジ」にあやかつたコンテストとして歴史を積み重ねており、そのような取組を市として応援するのは当然だと思います。また、公式SNSでの発信については、市民の多様な活動、意義のある市民活動は広く周知していくべきというのが私の基本スタンスです。

安心・安全なまちづくりとして水路の見直しを

山下 雄希議員

山下 令和4年5月の事故を受けて、用水路の見直しについて今後の課題と対応をお伺いします。

都市整備部長 今後の課題としては、水路と農地の間など、個人の土地を通らなければ水路に入れない場所などはフェンスを設置しておりませんので、そのような場所への新たなフェンスの設置は、土地所有者の承諾を得る必要があります。対策については十分検討する必要があります。

緊急安全点検の結果を基に、特に通学路や市街化区域内の交通量の多い箇所など、重大な事故につながる可能性が高い箇所については優先的に整備し、フェンスや柵などの破損箇所や穴の開いた危険な箇所については、早急な対応に努めております。さらに、ハード面の対策だけでなく、地域での見守りや声掛けのご協力をお願いしてまいります。

降ひよう被害の農家支援と 水田交付金見直しの影響は

佐伯 由恵 議員

佐伯 麦をはじめ梨や露地野菜等の降ひよう被害から、生産者を支援するため、被害梨の販路拡大、麦等の次期作支援、被害農産物回復肥料の補助を提案しますが、考えをお伺いします。

市長 被害梨の生育状況や梨農家の意見等も聞きながら、JAほくさい等と調整し、道の駅や市職員への販売、給食等での活用を考へてまいります。また、今回の降ひようによる農業被害は、県の特例災害の指定を受けており、県と歩調を合わせ、麦や梨、露地野菜等について、被害に応じた支援を考へてまいります。

佐伯 政府の、水田活用の直接支払交付金の制度（転作の補助金）の見直しによる、市内農家への影響についてお伺いします。

経済部長 乾田化した水田の水路や畦畔等の補修作業の増加や、交付対象外となった農地において農業者の経営収支が悪化することなどが懸念されており、今後の国の動向を注視してまいります。

企業の農業参入について の考えは

吉田 健一 議員

吉田 企業の農業参入の推進についての考えをお伺いします。

経済部長 現在、本市では、農業分野以外の民間企業がスマート農業による米生産やイチゴ農園を始めなどの展開が見られるほか、倉庫を利用したワサビの生産や、太陽光発電施設の下のスペースを利用したキクラゲの生産を行うなど、近年、独自の取組による民間企業が少しずつ市内の農業に参入してきています。今後、農業の維持・発展のため、農業分野以外の企業も含めて、多種多様な営農主体を受け入れることにより、持続的な担い手の確保につなげてまいります。また、農業の効率化や収益性の向上を目指したスマート農業を推進することにより、農作業の省力化等を図りながら農業者の減少をカバーするとともに、企業の新規参入を推進してまいりたいと考えております。

誰ひとり取り残さない災害 避難対策を

及川 和子 議員

及川 水害、災害は必ず来るといふ気象状況になっていきます。市民が日頃から防災を意識し、いざというときの心構えや準備などが行えるように、水害避難対策についての啓発は繰り返し行うことが必要です。系統的に推進することが必要だと思いますが、考えをお伺いします。

市長 自治協力団体、自主防災組織、民生委員・児童委員、また、社会福祉施設、学校等の要配慮者施設の職員、水害時に避難場所を運営する市職員などさまざまな立場で避難対策に関わる全ての方に、災害時に避難する側、受け入れる側、支援する側、支援される側、それぞれの視点からの啓発や研修を行っていくことが必要だと思えます。また、さまざまな方法で、災害時要援護者（支援される側）と避難援助者（支援する側）のマッチング率の向上を図っていくことも重要だと考えております。

水害時の避難場所確保を

松本 英子 議員

松本 水害時の避難場所確保は命に関わる問題ですが、現状では、5千人分の避難場所が確保されていません。民間施設や公園等の活用による取組をお伺いします。

経済部長 民間施設の避難場所は、令和4年5月に新たに、立正佼成会埼玉教会と水害時避難場所としての利用に関する協定を締結しました。現在、水害時避難場所として指定している民間施設は、合計8施設、また、車中避難を前提とした駐車場を利用した民間避難場所は、合計5施設です。なお、水害時の浸水が想定されない公園は2施設確保しています。今後も、不足している5千人分の避難場所の確保に努め、コロナ禍における避難場所を拡充すべく、市外も併せて、さまざまな民間施設と協議してまいります。また、まずは自ら安全な場所を確保し、自主的に避難することも、引き続きお願いしてまいります。

学校給食費の無償化について の考えは

小坂 徳蔵 議員

小坂 学校給食費の無償化が県内の自治体で広がっています。本市の給食費は県内最安ですが、今は給食費に対する認識が変わり、無償化の方向に大きく動いています。例えば、周辺の行田市、久喜市、幸手市、春日部市、熊谷市、上尾市では、第3子以降の給食費無償化を実施しています。特に行田市は今年度、中学校の給食費が無償です。給食費の無償化は時代の流れとなっておりませんが、考えをお伺いします。

市長 少子化対策として、国が保育の無償化を打ち出した時点で、次は教育の無償化という流れにあるのだろうとは承知しています。ただし、それを給食費の無償化として行うか、行う場合、少子化対策として第3子以降を対象にするか、あるいは低所得者対策として住民税非課税世帯等を対象にするかなど、各自治体の取組がありますので、調査し参考にさせていただきます。

議会の詳細は「会議録」で

一般質問や議案の質疑などの詳細な内容をお知りになりたい方は、市役所(議会事務局)や市立図書館で「会議録」の閲覧ができます。

また、市のホームページからも「会議録」の検索・閲覧ができます。ぜひご利用ください。



最新の本会議	開催年から閲覧する
▶令和 4年 第1回 定例会 (3月)	令和4年 >
▶令和 4年 2月 総務常任委員会	令和3年 >
▶令和 4年 2月 民生教育常任委員会	令和2年 >
▶令和 4年 2月 健康建設常任委員会	令和元年/平成31年 >
▶もっと見る	平成30年 >

埼玉県議会に関する情報番組

「こんにちは県議会です」(テレ玉)

日曜日(不定期)・午前10時~10時15分

県議会の各定例会の様や委員会委員長インタビューなど、県議会に関するさまざまな情報をタイムリーに放送します。すてきな賞品の当たるプレゼントコーナーもあります。

※詳しい放送スケジュールは、埼玉県議会ホームページをご覧ください。

<https://www.pref.saitama.lg.jp/s-gikai/index.html>



新たな議会の構成

令和4年第2回定例会において、新たな正副議長が選出されたほか、一部の委員会及び組合議会の所属変更等が行われました。発行日現在の議会の構成をお知らせします。

総務常任委員会

委員長 金子 正則 副委員長 池田 年美
 委員 吉田 健一 委員 松本 英子
 委員 小林 利一 委員 野中 芳子
 委員 中島 正和 委員 小坂 徳蔵
 委員 赤坂 和洋

総合政策部、総務部及び秘書課等の所管に関する事項等並びに他の委員会の所管に属さない事項について審査を行います。

民生教育常任委員会

委員長 大内 清心 副委員長 原田 悟
 委員 竹内 政雄 委員 池田裕美子
 委員 齋藤 理史 委員 新井 好一
 委員 山下 雄希 委員 及川 和子
 委員 中條 恵子

こども局、福祉部、健康医療部及び教育委員会の所管に関する事項等について審査を行います。

産業建設常任委員会

委員長 小坂 裕 副委員長 森本 寿子
 委員 関口 孝夫 委員 小勝 裕真
 委員 田中 良夫 委員 松本 正行
 委員 栗原 肇 委員 鎌田 勝義
 委員 佐伯 由恵

環境安全部、経済部、都市整備部及び上下水道部の所管に関する事項等について審査を行います。

議会運営委員会

委員長 小勝 裕真 副委員長 吉田 健一
 委員 竹内 政雄 委員 大内 清心
 委員 関口 孝夫 委員 佐伯 由恵

議会の円滑かつ適正な運営に必要な事項等の協議や議長の諮問に関する事項等について審査を行います。

市議会だより編集委員会

委員長 池田 年美 副委員長 中島 正和 委員 吉田 健一 委員 及川 和子
 委員 山下 雄希 委員 小勝 裕真 委員 小林 利一

市議会だよりを定例会及び臨時会終了後に発行するための委員会です。



小林 利一副議長

6月14日、正副議長の選挙が行われ、議長に栗原肇議員、副議長に小林利一議員が選出されました。



栗原 肇議長

議長に栗原肇議員を副議長に小林利一議員を選出

埼玉県都市ボートレース
企業団議会議員

栗原 肇 議員

加須市・羽生市水防
事務組合議会議員

中島 正和 議員 山下 雄希 議員
 小勝 裕真 議員 森本 寿子 議員
 吉田 健一 議員 松本 英子 議員

広域利根斎場組合議会議員

中島 正和 議員 金子 正則 議員
 中條 恵子 議員 栗原 肇 議員
 小坂 裕 議員 小坂 徳蔵 議員

埼玉東部消防組合議会議員

大内 清心 議員 松本 正行 議員
 佐伯 由恵 議員

第4期加須市議会モニターとの意見交換会を開催



7月5日(火)、議場において、第4期加須市議会モニターとの意見交換会を開催し、市議会の運営等に関し、要望や提言などさまざまなお意見をいただきました。

当日は、市議会モニター6名と議会運営委員会委員5名のほか、副議長及び傍聴議員の計20名が参加しました。

第5期加須市議会モニターを委嘱

7月12日(火)、大利根文化・学習センター アスタホールにおいて、市議会の運営等に関し、要望、提言などをいただくため、公募及び各種団体等から推薦された9名の市民の方に市議会モニターを委嘱しました。



栗原 肇議長から委嘱状を交付

あくつやすはる
阿久津康治氏(加須地域)

にしひでき
西野 秀樹氏(加須地域)

きたのひとし
北野 均氏(騎西地域)

みぞぐちゆうじ
溝口 裕二氏(騎西地域)

はりがやふみえ
針ヶ谷文英氏(大利根地域)

ながはまみねこ
長浜美根子氏(加須地域)

おかだてるひこ
岡田 輝彦氏(大利根地域)

かきぬまこうじ
柿沼 幸治氏(北川辺地域)

ならかずや
奈良 和哉氏(加須地域)

市民とともに進める議会改革

活発な意見交換が行われました



議会報告会・市民との意見交換会

7月12日(火)、大利根文化・学習センターアスタホールにおいて、議会改革を市民の皆さまとともに推進するため、市民公開研修講座を開催し、市議会の報告及び意見交換会を行いました。

近年の気象災害とその対策 ～自分の命は自分で守る～



市議会防災講演会

7月27日(水)、大利根文化・学習センターアスタホールにおいて、気象予報士・防災士の平井信行氏を講師に迎え、「近年の気象災害とその対策 ～自分の命は自分で守る～」をテーマに講演会を開催しました。

加須市議会本会議、委員会等の傍聴者の皆様へ

令和4年第3回定例会は、9月1日から10月3日までの日程で行われます。

本定例会を傍聴する場合には、新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するとともに感染を予防するため、次のとおりお願いいたします。

傍聴する場合には、次のとおりお願いします

- (1)入口にある消毒液で手を消毒してください。
- (2)マスクを着用してください。
- (3)市役所本庁舎1階正面入口に検温器がございますので、検温をお願いします。
(体温が37.5度以上の方は、傍聴できません。)
- (4)傍聴席の座席は、1つおきに離れて座ってください。
- (5)受付時に各自①または②を議会事務局へご提示願います。
 - ①新型コロナウイルスワクチン接種済証
(電子・紙媒体・写真)
 - ②新型コロナウイルスPCR検査陰性証明(直近)

次の場合には、傍聴できません

- (1)息苦しさ(呼吸困難)、強いだるさ(倦怠感)、高熱等の強い症状のいずれかがある場合
- (2)重症化しやすい方で、発熱や咳などの比較的軽い風邪の症状がある場合
- (3)上記以外の方で、発熱や咳などの比較的軽い風邪の症状が続く場合
- (4)その他、ご自身の症状に不安がある場合

※インターネットで本会議のライブ中継・録画中継を実施していますので、ご覧ください。



本会議をライブ中継と録画中継でご覧になれます。ぜひ、ご覧ください。

加須市議会 中継 検索



本会議をインターネットで中継

編集後記

猛暑の中、元気に鳴いていた蝉の声が、気が付けばコオロギの声に変わり、少しずつ秋が近づいて来ています。

さて、本市議会では、議会改革の一環として市議会モニターの貴重なご意見を聞く機会を設けております。さまざまな内容についてありました中から、市議会だよりにつきましても読者の立場からの感想・改善すべき点などのご意見を頂戴し、大変参考になりました。角田新市長の所信表明にもありましたように、「時代の変化に対応しながら希望の未来へと進んでいく」には、変化や失敗を恐れずに挑戦し続けることが大切ではないかと思えます。読みやすく、市民の皆さまに親しまれる紙面作りを目指し、今後とも努力を積み重ねてまいります。

(編集委員長 池田年美)

市議会だより編集委員会

委員長 池田年美 副委員長 中島正和

委員 吉田健一 及川和子 山下雄希 小勝裕真 小林利一

リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

